

航路護岸の吸出し防止工

{フィルターシート付孔あきアスファルトマット (t=50mm)}

航路護岸が長期に渡っての航跡波、干満による水位変動、雨水による吸出を受け、護岸背後の家屋が沈下傾倒している。

護岸補強の方法として、護岸背後直近の民家の存置、航路幅の縮小は出来ないなどの制約があり現位置での補強を計画した。従って、残留水圧に対してリアルタイムで圧力低減できる吸出し防止工が要求される。土粒子は孔部フィルターシートで吸出しを防止する構造の吸出し防止用フィルターシート付孔あきアスファルトマットを採用し、その上に被覆ブロックを設置した構造とした。

(アスファルトマット孔部の下面にフィルターシートを取付けた構造)

施工後、随時、水位変動の状況調査を継続中であるが結果は良好である。

図-1 標準断面図

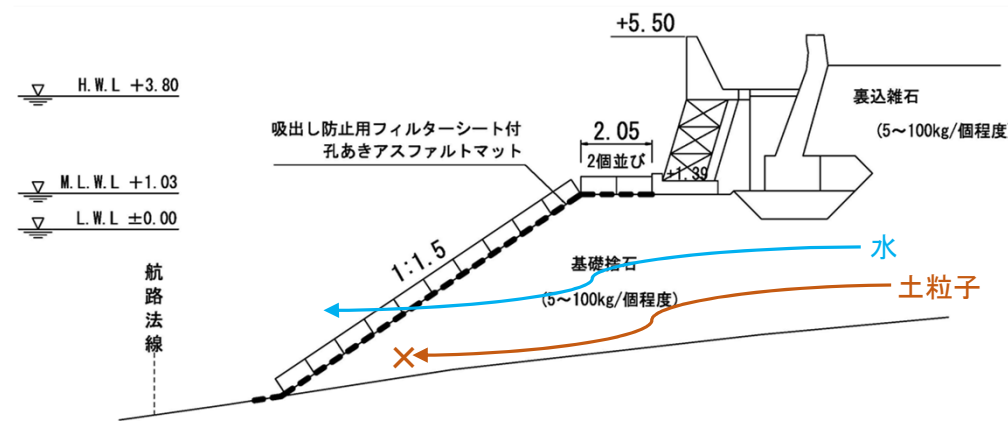
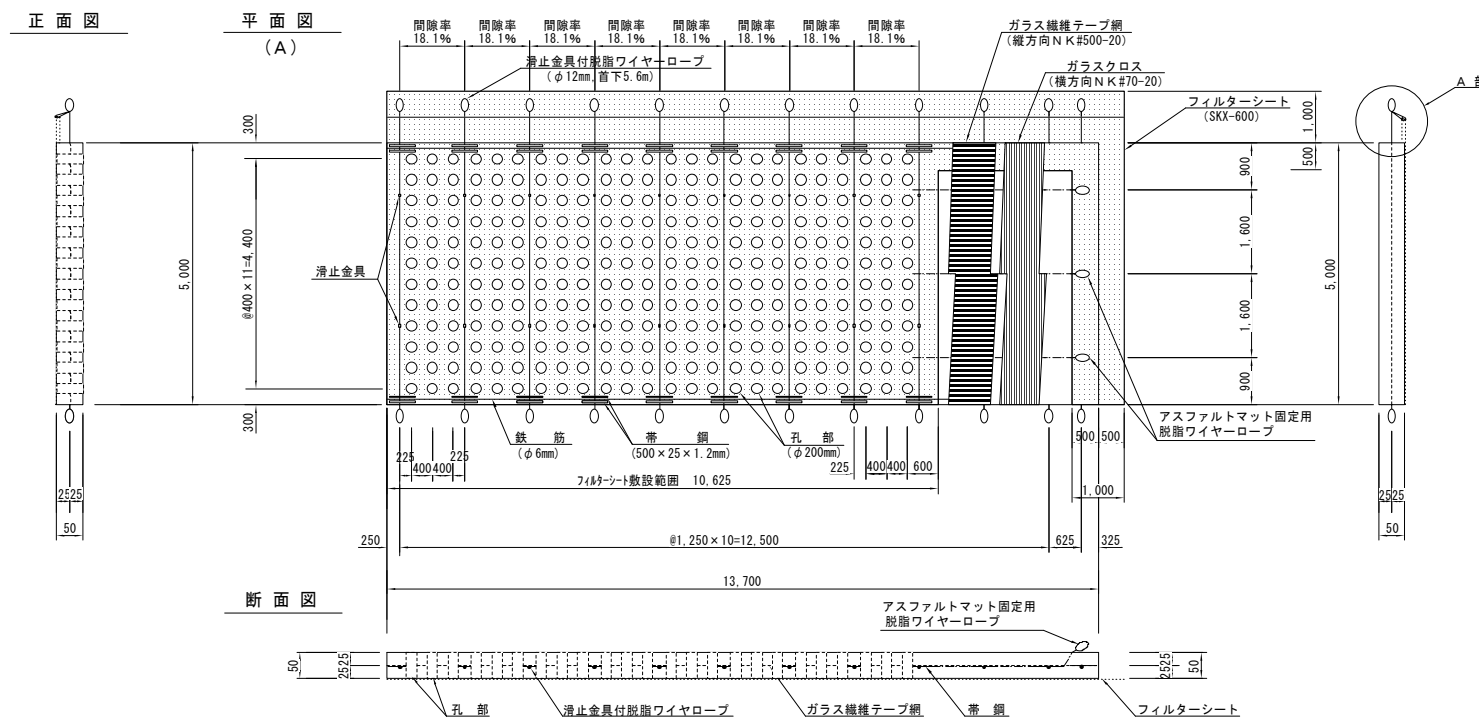
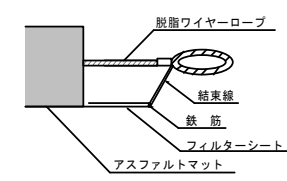


図-2 アスファルトマット構造図

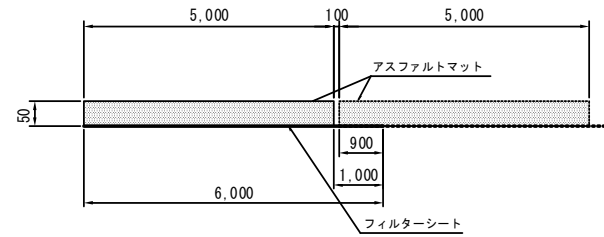


A部詳細図 S=FREE



※フィルターシートはがれ防止のため敷設時は折り曲げてワイヤーロープに結束する。

アスファルトマット重ね合わせ部詳細図



※透水係数を向上させるため100mmの目地を設ける。



フィルターシート付
孔あきアスファルトマット敷設状況(アスファルトマット上面)



フィルターシート付
孔あきアスファルトマット敷設状況(アスファルトマット下面)



被覆ブロック設置後の護岸全景